

水 土 里 レ ポ ー ト

投稿月日	令和 8年1月26日(月)
タイトル	田んぼの学校～狩込みどじょっこ会・収穫祭～
水土里レポーター名	

令和7年11月9日(日)、栃木県那須塩原市四区町において、狩込みどじょっこ会による田んぼの学校が開催されました。

この日は、朝から小雨が降っていましたが、田んぼの学校の活動で参加者全員が一番楽しみにしている収穫祭。農家の方や小学生親子など約80名が参加していました。

田んぼの学校の校長先生が挨拶をして、収穫祭の始まりです。

はじめに、畑に向かいサツマイモの収穫をしました。このサツマイモは、6月に開催された田んぼの学校で苗を植えたものです。農家の方々が事前に蔦を切って準備をしてくれたため、土を掘ればサツマイモが出てきます。

大きく実ったサツマイモが出てくるところもあれば、細長



い根っこのようなものもありました。サツマイモは、全部で約80kgの収穫でした。昨年度の収量と比べると約4分の1しかありませんでした。



サツマイモ掘りの後は、公民館に戻って凧を作りました。

切ったビニールにストローやナイロンテープなどを貼り付けて作りました。雨が降っていたため、揚げることはできませんでしたが、子どもたちは夢中になって凧作りをしていました。

公民館の外では、狩込みどじょっこ会の収穫祭恒例の焼き芋や鮎の塩焼きも準備されています。

ホクホクの焼き芋や焼きたての鮎の塩焼きは、雨で冷えた

体をしっかり温めてくれました。

大人も子どもも満面の笑みで頬張っていました。

最後は、臼と杵を使って餅つきです。

大小2種類の杵がありましたが、子どもたちには小さい杵でも重く一人では持ち上がりません。大人がサポートして一緒に杵を持ち楽しそうに餅をついていました。

次回の田んぼの学校が、今年度最後の活動になります。最後の田んぼの学校は、わら細工を作る予定となっています。

水土里ネット那須野ヶ原では、田んぼの学校の活動を支援していきます。



世界かんがい施設遺産

World Heritage Irrigation Structures in Japan

平成29年10月 栃木県内初!

～「那須疏水施設群」が登録～



「地域の財産」みんなを守ろう! かけがえのない 新100の水

みどり

水土里ネット 那須野ヶ原